

医療分野における脱炭素機器の面的な導入促進

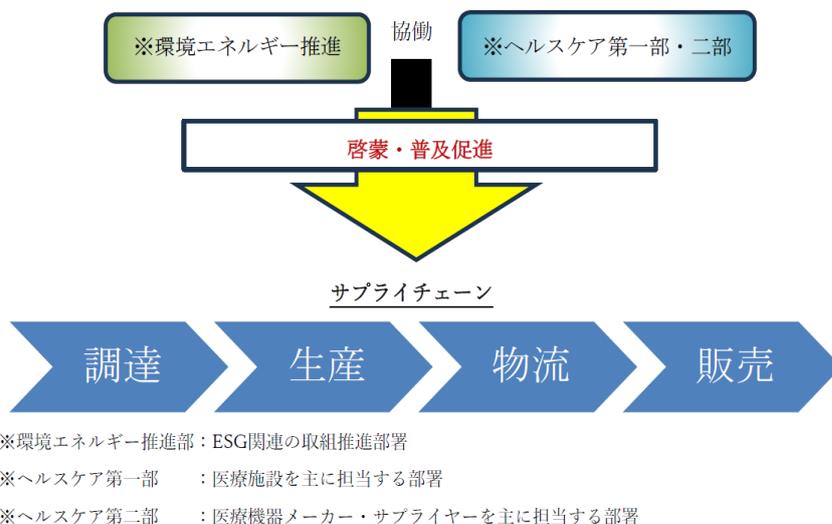
【申請No.2】

三井住友ファイナンス&リース株式会社

1. 取組の概要

2023年度も継続して ESG 関連の取組推進部署である環境エネルギー推進部、医療機関を主に担当するヘルスケア第一部、医療機器メーカー・サプライヤーを主に担当するヘルスケア第二部が協働し、医療機器分野のサプライチェーンに対して面的に ESG リース取引の啓蒙・普及促進を図っています。

【取組内容】



2. 取組の目的

弊社グループは2017年6月に環境方針を策定し、地球環境問題の解決への貢献を明文化し、2020年4月には「SMFL Way」のOur Visionの一つに「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げ、各種施策に取り組むなか、新たな機器・マーケットで ESG リースを推進していく事により、医療業界への面的な導入を通じた脱炭素化に貢献したいと考えております。

3. 取組のポイント

低炭素機器という概念に乏しかった医療機器にも低炭素に寄与するものがあるという気づきを各医療機器メーカー、販売会社含む医療業界に浸透できたことで、脱炭素対策の遅れていた同業界の環境対策に一石を投じることができたと考えております。

4. 今後の展望

各医療機器メーカー、販売会社含む医療業界全体のサプライチェーンにおける脱炭素機器のマーケット創出・機器の導入が定着しつつあります。本事業のより一層の理解と活用促進を図ることで、各医療機器メーカーや販売会社、その他の関連業界へのさらなる波及効果が期待でき、医療業界全体の脱炭素化が大きく前進するものと期待できます。

以上